



「志」大野中だより

令和7年3月10日(月)
文責:校長 瀬口 勇治

晴天の中、多くの方々に見送られ、3年生が卒業しました。素晴らしい卒業証書授与式でした

3月7日(金)に令和6年度第78回卒業証書授与式を挙行了ました。晴天のもと、保護者・地域・来賓の方々に見守られ、清々しく、厳粛で、素晴らしい式典を行うことができました。

182名の卒業生は、呼名においては、それぞれがしっかりとした声で返事を行い、心を込めた美しい声で式歌や校歌を歌ってくれました。その声は、保護者やこれまでお世話になった方々への感謝の気持ちが込められているかのようでした。さらに、卒業生代表の橋口 昇平さんの答辞は、これまでの中学校生活の思いと感謝がたくさん詰まった素晴らしいものでした。

また、校長式辞の中で、卒業生に次のような言葉を贈りました。

「If you can dream it , you can do it .」 「夢を見ることができれば、それは実現できる。」

皆さんは、どんな未来を描いていますか。どんな夢を持っていますか。夢を追い求めることは、決して簡単なことではありません。しかし、強い志を持ち、諦めずに挑戦し続ければ、必ず夢は実現します。

これからの人生では、様々な困難や課題に直面することもあるでしょう。しかし、どんな時も、この中学校で培った「考える力」「仲間を思いやる心」「志の精神」を忘れずに、未来に向かって力強く歩いていってください。

と、これからの期待を込めて伝えました。

卒業生も保護者の皆様も教職員にとっても心に残る卒業証書授与式となりました。卒業生諸君の輝かしい未来に、幸多きことを心から祈ります。



3.11 東日本大震災から14年

明日、3月11日(火)は、「東日本大震災」が14年前に発生した日です。警察庁によりますと、東日本大震災による死者数は今年3月1日までに全国で15,900人、行方不明者は2,520人となっています。いずれも去年から人数は変わらず、新たに遺体や行方不明者が見つかることはなかったようです。また、岩手と宮城では、未だに53名の遺体の身元の特定ができていません。警察庁は、これまでに延べおよそ71万人で行方不明者の捜索などにあたっているとのことでした。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から14年。時が経つにつれ、私たちの記憶と教訓は薄れていないか、自問しながら書いています。近年「持続可能な社会」が問われていますが、東日本大震災は持続可能な社会の課題を浮き彫りにしたといわれています。未来ある子どもたちが「命」の尊さを理解し、希望ある明日を生きていけるよう、今を生きる私たちが風化させてはいけないことがあると考えています。

自然災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。そのためにも、これまでの災害を自分事として捉え、教訓を生かし、備えることが大切だと感じています。中学生も地域の担い手として、自分たちができることをしっかりと考えてくれることを期待します。

今後の行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
3月12日(水)	専門委員会	3月17日(月)	公立高校合格発表、専門委員会
3月13日(木)	2年生クラスマッチ	3月24日(月)	修了式・離任式
3月14日(金)	小学校卒業式、タブレット点検最終日	4月7日(月)	赴任式・始業式

